令和６年度島根県男女共同参画サポーターの主な活動内容

項目	内容
男女共同参画かるた、川柳	男女共同参画かるた（大判）を利用した研修を行った。参加者に絵札を選んでもらい、連想したことを発表してもらった。
	男女共同参画かるたを読み上げ、その都度、自分の世代ではどうかを話し合った。
	男女共同参画かるたを用いて、男女共同参画の目線で日頃の何気ない行動や認識について考える機会を設け、参加者の男女共同参画の意識を深めた。
	駄言及び男女共同参画かるたを題材に、駄言への対応策について参加者で意見交換を行った。
	男女共同参画川柳の一部をあてるゲームを実施した。
啓発講座、ワークショップ	地域住民を対象に、（公財）しまね女性センター職員を講師として招き、男女共同参画の講演会を行った。進行、ワークショップのファシリテーターとなり実施した。併せてフリーマーケットも開催し、売上金を能登地震被災地へ全額寄付した。
	ブラスバンドの子ども向けに、昔と今の男女共同参画についてをテーマとしたワークショップを行った。
	男だから、女だからにとらわれず、好きな色や物で、ツリーを作るワークショップを行った。
	日常の自分の表現について、振り返りや見直す機会となるよう、男女共同参画の視点からの表現ガイドラインを用いて、表現方法の学習を行った。
	個別避難計画作成の講義を行い、女性が防災に関わる必要性について解説した。
	子どもを対象に、防災トイレ研修を行った。ファシリテーターとして、「災害が起きたら何に困る？」「男女共同参画ってなあに？」をテーマとしたワークショップを行った。
	外国人を対象に、「男女共同参画の視点で考える避難所」、「地域で起きた災害」、「災害時の情報を知るにはどうすればいいか」、「水害から自分を守るにはどうしたらいいか」をテーマとした講座を行った。
	男女共同参画の視点による避難所運営ゲームを行った。（企画・運営・読み手）
	人生双六を作成し、人生の節目で男女共同参画の意識がどのように変化したか話し合った。
	男女共同参画の研修会に参加し、研修内容を自治会婦人部の集会で紹介し、日頃感じていることを参加者同士で意見交換を行った。
	コーラスグループの正月行事で、家庭での男女の役割分担の現状や、それらをどうすればよいかを話し合った。
	公開講座のサテライト会場で、講座終了後にサポーター活動の紹介と、男女共同参画に関する意見交換を行った。
ポスター・パネル展示、ブース出展	「虎に翼」のポスターを展示し、来場者に啓発活動を行った。
	「男女共同参画の視点から、みんなが共に支え合う防災を考えよう」をテーマとして、啓発パネル展示、来場者へ情報提供、アンケート調査を行った。
	フェスティバルにおいて男女共同参画に関するブースの設置、啓発を行った。

項目	内容
意識調査	公民館まつりにおいて、性別役割分担意識に関するアンケート調査を行った。
	文化祭で意識調査を行った。昭和生まれと平成生まれを分けて集計し、違いがあるか調査した。
	広報誌に、男女共同参画サポーターのコーナーを設けてもらい、調査の報告と感想を掲載した。
	ランニングフェスティバルにボランティアとして参加し、男女共同参画に関する意識調査や啓発を行った。
本の読み聞かせ、本の紹介	男女共同参画に関する絵本（「くまのトーマスおんなのこ」、「ピンクはおとこのこ」）の読み聞かせを行った。
	子どもの学習会で、男女共同参画に関する絵本の読み語りを行った。また、防災の絵本を紹介し、こどもたちに避難所についての考えを聴いた。
	小学校の読み語りボランティアにて、男女共同参画に関する絵本の読み聞かせを行った。
	夏休みの児童クラブで、男女共同参画について、知って欲しいことや皆にできそうなことを話し、読み聞かせと男女共同参画かるたを行った。
	男女共同参画週間に合わせて「推し本」を選定し、紹介カードとともに市内小学校や図書館で展示を行い、読み聞かせボランティアの際に紹介した。 また、読み聞かせ後、内閣府の男女共同参画の教材を用いて、男女共同参画について児童が話し合う場を設けた。
	男女共同参画週間や子どもの夏休み期間中に、「推し本」を選定し、自作した紹介カードとともに図書館で展示した。
	防災訓練・研修に熱心な地域で、「男女共同参画と防災」をテーマとした「推し本」を展示し、イベント等で参加者に紹介した。
映画上映、寸劇上演	男性、女性という2つの性だけでなく色々な性があり、性別に関わらず自分らしく生きるためにどうすればいいか話し合ったり、ビデオ視聴（「バースデイ」）を行った。
	老人施設や地区のサロンで、オリジナルの男女共同参画啓発劇を行った。
	今年度撮影した「防災分野における男女共同参画推進事業」の寸劇動画を上映し、意見交換会を行った。
	「生活の中のアンコンシャス・バイアス」に気づきを持てるよう、①サポーター作成のDVD鑑賞、②アンコンシャス・バイアスチェックシート、③若者回復率の説明、④おいしいコーヒー淹れ方講座、⑤コーヒーとお菓子で意見交換会を行った。
ケーブルテレビの啓発CM作成	男女共同参画週間にあわせて、男女共同参画キャッチフレーズの啓発CMを収録した。